



感染性廃棄物
処理における
循環型社会の
構築を目指して。

感染性廃棄物を
適切に滅菌して処理を行い、
クリーンな環境を
創造する。



病院等医療機関から排出される廃棄物は紙くず類、プラスチック類、
ガラスの器材および、血液等、様々です。

それらの処理方法について、私たちは、処理時に発生するコスト削減や
CO₂削減につながる感染性廃棄物リサイクルの仕組みを構築しました。

課題1 コスト削減

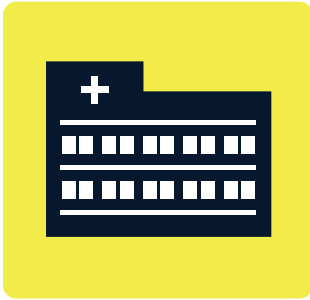
廃棄物処理価格高騰は廃プラスチックの海外輸出制限
や埋め立て処理場の短命化等により産廃処理費が年々
高騰しています。私たちのシステムを利用する事で病院
等医療機関の廃棄物処理コスト削減を実現します。

課題2 不法投棄

近年、不法投棄の問題が大きくなっています。産廃業者
によっては、利益確保のために適正な処理が行われ
ないケースも発生しています。私たちは、適正価格で
事業性を持たせたシステムを構築しました。

感染性廃棄物リサイクルシステムフローのご紹介

1 医療廃棄物の発生



病院や介護施設などから感染性廃棄物が発生します。
発生した感染性廃棄物を施設内で完全滅菌処理する事で
感染防止、不法投棄、コストの削減など、様々な社会・環境
問題の軽減につながります。

注射器のシリンジなど樹脂系感染性廃棄物



※針やダイアライザーは対象外です。



or

オムツなど水分を含む感染性廃棄物



2 滅菌処理

専用ペールを滅菌機に入れ、再生資源(インゴット)に変換



2 滅菌処理

袋を熱分解装置へ入れ再生資源(灰)に変換



3 運搬

滅菌済再生資源(インゴット)を油化プラントへ運ぶ



3 運搬

熱分解装置で変換した灰をセメント会社が回収する



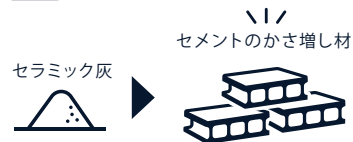
4 再生

インゴットを油化装置に入れて再生資源(再生油)に変換
ボイラーの燃料など



4 再生

回収された灰はセメントのかさ増し材として再利用される



感染性廃棄物リサイクル装置のご紹介

溶融滅菌機



処理できるもの



注射器・輸血セット・輸血バック・点滴セット
かん腸(空)・三方活栓・連結管・輸液セット
サンプルカップ・カテーテル・キュベット
各種チューブ ※針等鋭利物の分別必須

処理手順

- ①専用容器に樹脂系感染物を収容
- ②収容した容器を滅菌機の定位置に収納
- ③自動スイッチを押し滅菌開始(210°C/7分)
- ④滅菌完了した容器を取り出しトレイに入れ30分間冷却庫で保管
- ⑤冷却後、持ち運び可能なインゴットに

製品詳細

【サイズ】
W800mm×L780mm×H830mm(本体のみ)
【重さ】約500kg
【電力】AC3相 200V-220V/50-60Hz
【滅菌方法】湿式溶融滅菌
【加熱方法】ヒーター加熱方式
【ヒーター容量】4kw×1基 3kw×2基 12kw
【滅菌設定温度】200°C±5°C
【滅菌時間】7-15分(可変)
【湿度制御】PID方式
【消費電力】14kw
【個当たり消費電力】20L-0.68kw/個(3kg時)
45L-1.12kw/個(6kg時)

油化装置



処理できるもの



再生資源
(インゴット)

再生油

処理手順

- ①インゴットを破砕機で細かく裁断する
- ②裁断したインゴットを油化装置に投入する
- ③自動スイッチを押し稼働開始(410°C)
- ④再生油が抽出される
- ⑤油化装置稼働の燃料として再利用

製品詳細

【サイズ】
W3500mm×L2500mm×H1000mm
【リアクターサイズ】
W1300mm×L2400mm×H400mm
【重さ】約800kg
【電力】電圧:200~480V 消費電力:65kwh
【処理量】45kg/毎時

熱分解装置



処理できるもの



セラミック灰

オムツなど
水分を含む感染性廃棄物

処理手順

- ①袋に感染性廃棄物を収容
- ②収容した袋を熱分解装置に投入
- ③自動スイッチを押し滅菌開始(最大温度800°C/12時間)
- ④処理完了後灰に変換される
- ⑤セラミック灰を取り出す

製品詳細

【サイズ】
W1810mm×L1330mm×H1445mm
(煙突除く※煙突の長さ、形状はお打ち合わせにて)
【重さ】約900kg
【電力】電源:200V三相、消費電力:60A/11Kw
【材質】本体カバー:ステンレス
内部炉:スチール
【性能】処理時間:1回約6~12時間
(投入物による)最大処理容量220ℓ未滿

多角的に繋がるゼロ・エミッション



病院の利用データ

- 外来患者数
- 病室稼働率
(地域包括、療養など)

契約関係データ

- 廃棄物の委任企業との契約書及び各契約処理単価
- 自動販売機設置に伴う契約書

この事業で得たデータを元に

廃棄物回収データ

- 感染性廃棄物の数量/重量
- 医療廃プラの重量
- 可燃廃棄物の重量
- 不燃廃棄物の重量
- 使用済みオムツの重量

その他、必要データ

- 電気使用費
- 電気引き込み設備及び機器設置階の図面
- 既存の廃棄物置き場の図面



サステナブル経営は必然である。

社会に対して「意味がある」ことを事業推進するにあたり、必ずサステナビリティについて鑑みる必要があります。さらに社会のため、地球のため病院の活動でインパクトを与え続けるために重要なのは、企業そもそもサステナブルである事と言えます。

SDGsやCSRはあくまでもサステナビリティがあってこそ貴院がサステナブル経営を実践し、さらに100年先も継続すること、そして社会に対して医療で健やかな暮らしの可能性を最大化し続けていくことの発信は、これからの時代を生きていくためには必須と言えます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

